

評価が上がる ワンランク上の敬語表現

≫「恐れ入りますが」「よろしければ」などのクッション言葉を使うと、丁寧な表現になる。お願いする場合は何う形にすると◎
≫「さようございますか」など、かしこまった敬語も場面に応じて使い分けて。今日→本日などに言い換えるとさらに印象アップに

敬語の基本が使えるようになったら、ワンランク上の表現も覚えたいもの。お願いする場合に、「この書類にご記入ください」と言うのは間違いではありませんが、「お手数ですが、こちらの書類にご記入いただけますか」と伝える方が、より丁寧で、相手も受け入れやすくなります。また、普段使

う単語も「お名前」「ご住所」など、「お」や「ご」をつけるようにしましょう（自分が行為の主体の場合に使うのはNG）。ただし、かしこまった表現は使いすぎると逆に失礼になることもあるので、場面に応じた使い分けを。相手を思いやる気持ちを込めて話すことが一番大切です。

クッション言葉を使って丁寧に

お願いする時や、相談する時は敬語表現を使うのはもちろんのこと、気持ちを表す一言をプラスすると丁寧です。

シーン	クッション言葉
お願いする場合、断る場合など	すみませんが／申し訳ありませんが／恐れ入りますが
少し面倒なお願いをする場合	ご面倒をおかけしますが／お手数をおかけしますが お忙しいところ恐れ入りますが／厚かましいお願いでございますが
相手の意向を尋ねる場合	(もし) よろしければ／お差し支えなければ／ご都合がよろしければ できましたら／お手すきでしたら

ワンランク上の敬語

言葉	使い方
かしこまりました	目上の人には「わかりました」より丁寧な表現にする
頂戴いたします	資料を受け取った時や名刺交換の際に使う
とんでもないことです	褒められた時などにへりくだる表現
恐れ入ります	「ありがとうございます」よりかしこまった印象を与える
いたしかねます	「わかりかねます」など、「ない」という言葉を避けると丁寧
いかがいたしましょうか	目上の人意向や要望を聞きたい時に使う



場面に応じた丁寧なあいづちを

何度も「はい」を繰り返すよりも、「さようございますか」「さようございましたか」を使うと、相手の話を深く聞こうとする気持ちを伝えられます。ただし、使いすぎには注意。

お願いする時は何う形に

何かをお願いする時は、「お伝えいただけますか」「お伝え願えますか」など、疑問の形にするとより丁寧になります。クッション言葉（→P140）もセットで使いましょう。

step up

「あれ、これ、それ、どれ」は「あちら、こちら、そちら、どちら」にすると◎。また、今日→本日、明日(あした)→明日(みょうにち)、さっき→先ほど、後で→後ほどなど、日常のちょっとした表現を丁寧に言うと敬語がより際立ちます（→P53）。